

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高齢者向け地域支え合い事業
事業主体 (連絡先)	シルバーカフェ (松本市沢村3-1-8 / TEL 0263-87-7816)
事業区分	②保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,239,460円 (うち1,679,000円の支援金)

事業内容

独居老人と呼ばれる1人暮らしの高齢者を地域で支え合う体制づくりは、国の進める政策である。その先駆けとして誕生したシルバーカフェの活動も充実し

- ・コミュニティカフェ
- ・相談機能
- ・特殊詐欺啓蒙

など様々な展開を行うことが出来た。

1年間のうちで、登録者もほぼ倍近く、また一日の利用する方も倍程度となり、広く知られ多くの方にご利用いただくまでとなった。



【カフェフォーラム：沢村の様子】

【目標・ねらい】

- 年間 1000 人の利用者
→1200人達成
- シルバーカフェ登録者数 250 人
→400人の登録
- フォーラム参加者数 計画60人
→180人の参加者

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

カフェの活動は主に松本市沢村地区・塩尻市広丘地区だが今回、波田のまちづくり協議会よりカフェフォーラムの開催要請を受けて、出張カフェフォーラムを開催。実に150名を超える方々のご参加を頂いた。また塩尻市主催の市民団体活動とも連携が出来た。特殊詐欺撲滅活動は、地域の小中学校に配布依頼を行い、各学校の協力のもと、計画した配布をすることができた。利用者も計画を超え、現在400名の登録となった。カフェの健康教室なども、地域の方々に協力頂き、目標としていた地域の支え合いの体制がさらに拡充できた

※自己評価【A】

【理由】
当初の計画を超える方々にご利用いただいた。また他地域からもカフェ活動の要請を頂くこととなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

元気づくりを活用した「高齢者の地域支え合い体制作り」もまとめの3年目を迎える。来年度は国が掲げる課題となる「予防医学・予防介護」に取り組んで参りたい。そのことで医療費や介護費といった社会福祉に関わる健全なる予算抑制に寄与できるように努めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある